



那珂川市議会 会派

人とひとが交わるその先に!!

2023  
8

みらいえ nakagawa

その先の未来へ

「みらいえ」は、一つ一つ色の違いを認め合う集団  
色（考え方）の違いを認め合いながら、その先の未来を目指す。  
「みらいえ」は、色が交わり交差した時に一番良い色を探す  
色（考え方）は、交わり、交差することで全く異なる色となる。  
その異なった色の中から市民にとって一番良い色を見つけ合う。  
「みらいえ」は、皆さまの未来に責任を持つ  
那珂川市の未来を見つめ、赤ちゃんからご高齢の方まで笑顔で暮らせる  
提言を行い、未来にわたって誇れる那珂川市の未来絵を描く。



津留 渉

松尾 正貴

真鍋 昭洋

## 那珂川市議会 会派みらいえ 合同市政報告会

**日時** 9月3日（日）9:30 受付 10:00 開会  
**場所** ミリカローデン那珂川 多目的ホール

7月2日、南地区公民館で開催いたしました「会派みらいえ合同市政報告会」には、多くの皆さまのご来場を賜り、盛況のうちに終えることができましたこと、誠に感謝申し上げます。

尚、7月9日に予定しておりましたミリカローデン那珂川会場での報告会は、7月8日から続く豪雨の影響により、当日の朝から高齢者等避難が発令され、会場としておりましたミリカローデン那珂川に避難所が開設されたため、やむなく延期いたしました。当日ご来場いただきました皆さま、またご来場を予定されておられた皆さまには、急な延期のご連絡になりましたことを深くお詫び申し上げます。

つきましては延期としておりましたミリカローデン那珂川での「会派みらいえ合同市政報告会」を、日を改めまして上記の日程で開催する運びとなりましたので、再度ご案内させていただきます。  
皆さまお誘い合わせの上、お気軽にご参加いただければ幸いです。

### 中間市議会ハラスメント根絶条例視察

全ての人が平等で対等な社会に向けて！

7月7日、会派「みらいえ」の3名の議員にて、「中間市議会ハラスメント根絶条例」の勉強をしに福岡県中間市に視察研修に行ってきました。

中間市議会においては、議員から議員に対するハラスメント、議員から市職員に対するハラスメントを根絶する為に条例を制定されております。

「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶する条例」が制定され、他の議員から議員がパワーハラやセクハラを受けた場合には、議員は救済を申し出ることが可能です。

しかしながら、市の職員に関してはそのような条例はありません。  
市職員の本来の仕事は、市民の為に働き、より良い那珂川市にする責務があります。

そのような環境整備を作ることも議会の役目であると考えます。  
若い市職員の病気療養（うつ病）による休職の報告を受けたり、若い世代の退職者の報告を受けるたびに、心が痛みます。

議員が全ての原因とは限りませんが、実態を調査して、もし、そのようなことがあるならば、市職員へのパワーハラスメント根絶を目指していきたいと考えます。





## 部活動に公共施設利用料減免規定を

質問者

まつお  
**松尾 まさたか**

**Q** 市内3中学校の吹奏楽部の部活動にて、**ミリカローデン那珂川のホールの利用料が高額であるため、利用が困難である**との意見は届いているか。また、今後、整備予定である総合運動公園には、陸上トラック、サッカー場、テニスコートも整備される予定だが、**運動部の部活動について大会を見据えた本番さながらの練習で利用したい**という声はあがっていないのか。

**A** いずれの意見も届いていない。

**Q** **陸上部などは、総合運動公園に新設予定のトラックでの練習を希望するはずだ。関係者への聞き取りを講じるべきと考えるが。**

**A** 現時点では聞き取りを予定していないが、必要性を含め、今後検討していきたい。

**Q** 他の自治体においては文化施設や運動施設にて、**部活動における減免規定を設けているところは多くある**。現在減免規定のないミリカローデン那珂川や総合運動公園にも**義務教育機関への減免規定があつてよいのでは**。本番さながらの練習をして大会や演奏会に臨みたいと思う生徒や保護者の思いをくみ取り、**中学校の部活動における減免規定に対する考えは**。

**A** 学校部活動の地域移行の動きもあるので、学校部活動の活動場所に関する費用負担のあり方について、今後、近隣自治体の状況を含めて調査研究したい。



## かわせみバスの広域連携を

質問者

わたる  
**つる 渉**

**Q** **現在のかわせみバスではカバーしきれない移動ニーズを、地域運航という手法でカバーする事ができる**と考えるが、検討の状況は。

**A** 市民との協働による持続可能な公共交通の手段について、引き続き調査研究していく。

**Q** **春日市のフォレストシティなどの商業施設に行きたいというニーズもある**と考える。**他自治体との公共交通の相互乗り入れや広域連携についての考えは**。

**A** 車両台数や乗務員が限られた中での運行では、市内路線への影響が大きく、市内路線に対する市民からのニーズがある中、市外の施設を優先して運行することは適切でないとする。

**Q** **近隣市で連携して広域的な公共交通を実現できれば、より効率的な運行につながると考えるが、見解は**。

**A** 筑紫地区5市では、公共交通担当者による勉強会を年に数回しているが、具体的な検討には至っていない。バス車両の運用に苦慮する状況が共通課題となっており、予備車両の利用方法など、今後も自治体間で情報共有や連携を進めていきたい。



## 安心して通行できる市道管理を

質問者

あきひろ  
**まなべ 昭洋**

**Q** 市道側溝、集水マスに蓄積した落ち葉や土砂は地域住民が区役等で清掃しているが、中山間地域では**集落毎の距離があり、特に高齢化した集落にとっては、無理強いとなりかねない**。この現状をどのように考えているのか。

**A** 地域からの相談を整理し、実情に応じた維持管理を調査研究する。

**Q** 側溝に入りきれない落ち葉や土砂等で**排水機能が損なわれると、豪雨時には道路が川の様になり、避難誘導が困難**である。側溝閉塞による雨水の路面流出が排水機能を損なわせ災害につながると唱える研究者もいる。再度市道側溝を点検し、側溝に雨水を誘導できるように泥上げ等の清掃頻度を増やし、慢性化している箇所には有効な策を講じるべきと考えるが。

**A** 必要に応じて道路側溝や集水マスのしゅんせつ等、個別具体的な対応を調査し、検討する。

**Q** **土木事業申請を提出し、最初の回答後は、経過報告がない**という声をよく聞く。区長や担当職員が変わっても**遑って追いかけることが大事だ**と考える。過去の申請を整理しなおし、計画を組み直し、**保留中の申請に対応できていないのであれば、せめて数年に分けてでも取り掛かるべき**と考えるが、見解は。

**A** 議員の提案を参考に、今後調査研究する必要があると考える。



那珂川市の未来を見つめるご提案、ご要望、ご相談などがございましたら、お気軽にご連絡ください。一緒にあなたの思いを描く那珂川市の未来絵を描かせてください。



那珂川市議会 会派

【ご意見・ご要望・お問い合わせ】

TEL:951-2500 FAX:951-2501

E-mail:miraie@sasuga.co.uk

まつお

**松尾 まさたか**

090-5928-4522

わたる

**つる 渉**

090-3662-3715

あきひろ

**まなべ 昭洋**

090-6425-7649